

# 市民公開講座 Open UniverCity



公立小松大学市民公開講座では、地域に開かれた学びの場として、多様なテーマで講座を開講します。大学で行われている学術の研究成果や専門的な知識を分かりやすくお伝えし、市民の皆様が新たな視点を得る機会となることを目指しています。

本講座は、どなたでも参加可能です。知的好奇心を刺激し、新たな発見を楽しむ場として、皆様のご参加をお待ちしております。

※講座の詳細は公立小松大学ホームページからご確認ください(各講座開講1カ月前に公開予定)。

※講座ごとにお申込みいただく形となります。各講座の申し込みフォーム(二次元コード)からご予約ください。



## 1 **New** 公立小松大学 アカデミックリーダーズセミナー(全6回)

申し込み  
はこちら >>



理事長・学長・副学長・学長補佐による6回シリーズの特別講座です。  
文理の垣根を超え、様々な角度から楽しく考察します。

開催日時 **8月~9月** **6回**シリーズ 14:00-15:30  
会 場 **中央キャンパス** 募集人数 **各回50人** 申込締切 **7月末日**

### 1 8月2日(土)

講演テーマ

#### 理事長の雑学 ①歌舞伎を楽しむ



講師 公立小松大学 理事長  
**石田 寛人** Hiroto Ishida

#### ●講演要旨

歌舞伎は、長い間にわたる先人の叡智の集積であり、この世を生きる人間の楽しさと苦しさ、喜びと悲しみが集約されていて、実に学ぶところの多い演劇と  
思っています。歌舞伎で最も愛好されている「仮名手本忠臣蔵」(今年のお旅祭  
りで龍助町が上演した演目「土屋主税」は、これに関連する芝居です)と、小松  
での出来事を題材にしながら、全国的に人気の高い「勧進帳」を取り上げて、歌  
舞伎の醍醐味をみなさんとともに味わいたいと思います。

#### profile

1941年東京生まれ。1964年東京大学工学部原子力工学科卒業。同年科学技術庁入庁。  
在米大使館参事官、原子力局長等を経て1995年事務次官。1999年駐チェコ日本国大  
使。2003年退官後、東京大学客員教授、金沢学院大学学長を務め2018年より現職。前  
田育徳会理事長、関東大小松会会長、石川県人会会長(全国連合会長兼務)を務める。

### 2 8月9日(土)

講演テーマ

#### 北陸の医の歴史



講師 公立小松大学 学長  
**山本 博** Hiroshi Yamamoto

#### ●講演要旨

医学はインドや中国で起こり、海を渡って日本へ。わが国で最初に病院をつくつたのは聖徳太子。薬局に相当する「施薬院(やくいん)」、貧しい人や身寄りのない人を救済する「悲田院」、修養を行う「敬田院」も太子によってつくられました。幕末までは漢方が主流でしたが、種痘の伝来とともにオランダ医学が普及。明治に入るとドイツ医学が導入されましたが、第一次世界大戦でドイツが敗れると日本の医学はやや混迷。そんな中、「世界の金沢医学」を唱え、日本医学を領導した一人が小松市出身の岡本肇先生でした。本講演では、このような医学の歴史を紹介します。

#### profile

1949年石川県小松市生まれ。高校生の頃は文学、音楽の道を志望していたが、自分には力が及ばないと感じ、比較的面白そうに見えた医学の道に進む。医者として尽力するものの、がん患者を治せぬまま見送らなければならなかった無力感から研究の道に入る。

### 3 8月23日(土)

講演テーマ

#### 支えあい社会を実現する ピア・サポート



講師 公立小松大学 副学長  
**志村 恵** Megumi Shimura

#### ●講演要旨

「ピア」は、英語のペアと同根の語源を持ち、「同じような」「等しい」という意味で、「ピア・サポート」とは、同じ立場の人同士による支え合いの活動を表します。ピア・サポートは、世界中で行われ、日本でも障がいのある方々や難病の方々、あるいは学校などで、いろいろなかたちで実践されています。今回は、ドイツで行われている外国ルーツの市民によるピア・サポート活動と、多胎家庭支援でなされているピア・サポート活動を紹介しながら、支え合う社会について共に考えたいと思います。

#### profile

1957年高知県生まれ。名古屋大学とドイツ・ミュンヘン大学で学ぶ。2024年4月より当大学勤務。専門はドイツ学、キリスト教学、多胎家庭支援研究。現在は、外国をルーツに持つ市民によるピア・サポート活動や多胎家庭のピア・サポートの実践的研究を行う。

### 4 8月30日(土)

講演テーマ

#### 地球システムと 地熱エネルギー



講師 公立小松大学 副学長兼研究科長  
**木村 繁男** Shigeo Kimura

#### ●講演要旨

純国産のエネルギーである地熱エネルギーは、再生可能エネルギーの一つであり、その賦存量はアメリカ、インドネシアに次いで世界第3位といわれています。そのエネルギーを100%利用すれば、日本の電力の30%を賅うことができるが、地熱発電が占める割合は、国内全発電量のわずか0.3%。さらに、この数値は過去30年間ほとんど変化していません。国はこれを1%にするという目標を設定しましたが、その実現はまだ不透明な状況です。ここでは、地球の構造と地熱エネルギーの起源について説明し、その利用の現状と今後の可能性や課題を紹介します。

#### profile

機械工学専攻において、「浮力による流動現象」(自然対流)に関する研究で学位取得後、UCLAの地球・惑星科学科でPostdocの経験を持つ。その時に耳にしたマンテル対流や大気・海洋などの流動解析に触発される。産業技術総合研究所と金沢大学で地熱開発を研究に携わり、当大学では「地球環境と環境流体」などの授業を担当。

### 5 9月6日(土)

講演テーマ

#### スポーツ現場で本当にあった (タメになる)怖い話 -健康心理学・犯罪心理学の視点からの 解説と教訓-



講師 公立小松大学 学長補佐  
(研究担当)  
**高木 祐介** Yusuke Takagi

#### ●講演要旨

スポーツは、明るく、元気になる話題が多いです。その一方で、指導者による心理的支配、ドーピング、摂食障害、山での遭難など、人々に不安や恐怖を与えるような事例も多数あります。それらは、「知識があれば」「勇気があれば」「誰かとつながっていれば」防げたものばかりです。本講演では、一人で抱え込まず、誰かに相談して選択肢を広げることの大切さについて、健康心理学と犯罪心理学の視点から解説・提案します。スポーツを楽しく、嬉しく続けていくために、皆さんと一緒に教訓を学びたいと思っています。

#### profile

静岡県浜松市生まれ。東京学芸大学卒業。広島大学大学院、川崎医療福祉大学大学院、日本学術振興会特別研究員を経て現職。博士号(健康科学)、公認心理師、教員免許(保健体育・社会・家庭)を保有。研究テーマは身体活動時にみられる喘息発作・熱中症・自覚症状や急性高山病等の予防、アスリートへの食育指導、健康心理相談。

### 6 9月20日(土)

講演テーマ

#### 映画研究入門 -映画経験を豊かに



講師 公立小松大学 学長補佐  
(教育・国際交流担当)  
**小原 文衛** Bunei Kohara

#### ●講演要旨

「映画研究」は、そもそも学問として成立するのかと問いたくなる方もおられるかと思いますが、本講座では、娯楽・アトラクションでもある映画を真面目に研究する「映画研究」という学問の基礎的な考え方を紹介します。映画研究によって、どのようなことが明らかになるのかを示し、映画研究が持つ学術的な意義を探ります。この研究を知ることで、少しでも皆様の映画経験が豊かになればと願います。

#### profile

専門は映画研究。金沢大学大学院人間社会環境研究科にて博士(文学)取得。当大学国際文化交流学部にて映画研究、英語の教育に携わる。アメリカ映画を主たる対象として、映画史、映像理論、映画の精神分析などの研究。近年は「ゴジラ」(1954年)のアメリカ社会・文化における受容問題を映像・視覚理論の立場から考察する。

